

チームやんじー災害支援プロジェクト 被災地での活動内容

第5陣

2011/8/21～8/25 9/12～18

【第5陣主メンバー】 敬称略

山口幸雄 **山口由里** 地元チームやんじー

【被災地の状況】

仮設住宅にほぼ入居した。飲み水もやっと復旧。家が残った人、仮設に入った人など、いろんな問題が出てきている。仮設住宅(特に、報道などがよくされている仮設住宅)には、にわかボランティア団体などが物資を置いてたくさんある。家がある人には、物資は当たらないし、買わないといけない。一軒家に住んでる方が厳しい状況も見られる。また仮設住宅の人は、義援金が入ってきてるため、車も新車を買ったりしている。車など足がない老夫婦世帯は厳しい状況である。奥地の仮設住宅、高台で外から見たら普通に見える家や半壊住宅に住む方も気になったので、そういった場所を中心に物資を配布する。

【活動の様子】

チームやんじー南三陸歌津チームとの連携

北海道に代表の山口がいる間、地元の歌津の有志の方々が、物資を配ってくださったり、ベースキャンプの周りを点検してくれたりしていた。南三陸町内でも、チームやんじーが出来てきた。北海道と南三陸町の方々と連絡を取り合っていた。北海道では、調味料やハエたたきなどを支援物資として呼びかける。震災の意識が薄れつつあり、報道も少なくなっているのが現状である。支援物資は、少ないものの主に、長沼中継局から集荷する。それ以外に食器や保温ポットなど配布する。馬場中山地区、港地区、にらの浜地区、寄木地区、林地区、名足地区など。

【購入した主なもの】

報告会などでプロジェクターとスクリーンを使用するため購入。より多くの方に活動の様子、被災地の現状や防災意識が高まる映像をお見せできるようになりました。被災者の方が、ある時期を境に津波の時の様子などをお話しされるようになり記録したり、報告会の話など記録するのに使用しています。



【左】
プロジェクター スクリーン

【右】
音声録音機

【活動の写真】



進水式の様子



物資を積み込み、長沼に



はえ叩きや調味料を配る



車にステッカー



物資配布の様子



ポットは喜ばれました



自炊調理応援



峠地区のみなさん



チームやんじー南三陸歌津主要メンバー



南三陸ボランティアセンターも充実してきました